



聖字

改正商賈往來

全



黒田行純先生著
山口松雪先生書

改正商賈往來

明治六年
十二月發

文明書樓藏



題云

乃續所用其文字或類乘者明海
利層層與後乃新榮收名者其
在古其其義を往復の多し
水と支那尺續式の畫中千も
以て是を我邦に於て然るも
一奉より法及の體を存せり
法帖の體金と相類せず
名を冒らしむる者多し

方今商業之便多向の上り我輩も之を一陸來
我海人も之を乞ふ余則ち水乞一陸因循
し之をこれ我以乞く是智徳己に乞く係
度一終乞を以てなり觀者幸て其陋を乞
むる勿れ

我輩も方今之を交易する所の水乞を
又之編次混雜を似るものも其裏にお災
係す海陸各門部と乞ひの法乞を
あるのみ

度量貸幣の悉く我邦乃者予所
辨り海陸各門部と乞ひの法乞を
乞一終乞を以てなり觀者幸て其陋を乞
むる勿れ

明治六年七月

行元誌

改正商賣往來凡例

商法會社

山物類

金石類

植物類

米穀野菜

動物類

家畜山海鳥獸

工產物類

衣食器械

家什諸具

兵器類

醫術器械

藥種

曆法大意

海外旅商

改正商賣往來

手漕以後乃商法ハ舊

契事件悉く拂ハ盡

之ニ一新會社を結成

相助け大業おも最

易々成就やすやす 成然なるがごとく 交易こうぎ 於品おのづから 之時そのとき
 勢せい あり。先まづ 交易こうぎ 於品おのづから 之時そのとき
 山さん 勢せい 植ちく の諸しよ 品ひん 阿里あに 共とも 二
 地ち 産さん 於各おのづから 種しゆ 形かたち 季き 山さん 産さん
 物ぶつ に貴き 賤せん あり。先まづ 礦くわう 屬ぞく

乃なつと 貴き 金きん 小せう 白はく 金きん 黃わう
 銀ぎん 水すい 銀ぎん 於各おのづから 品ひん
 阿里あに 又また 寶ほう 石せき の數かず 多おほ し
 金きん 剛かう 石せき 茶ちや 玉ぎよく 紫むらさき 石せき 英えい
 華くわ 瑠る 都と 猫ねこ 眼がん 賀が 羅ら 形かたち

辰	蒼	有	瑪	跡
生	石	的	瑙	水
銅	鑄	亞	祖	晶
黃	鐵	鉛	母	顛
銅	認	日	綠	不
有	安	像	等	刺
瀨	質	兒	考	漏
仁	母	楊	品	瑞

木	雲	岩	硫	礬
火	母	土	黃	石
石	硝	油	丹	銅
蠟	石	石	礬	綠
石	大	腦	砂	朱
花	理	油	明	炭
稠	石	石	按	酸
石	泥	塩	綠	曹
				達

石^{せき}炭^{たん}油^{あぶら}石^{せき}灰^{はい}四^よ頓^{とん}号^{ごう}
 留^る的^て水^{すい}皆^{みな}廣^{かん}直^{ちゆう}乃^の不^{はん}
 種^{しゆ}多^た又^{また}植^{ちく}産^{さん}其^{その}数^{かず}多^た矣^や
 造^{さう}船^{せん}局^{きゆう}の用^{もち}材^{ざい}も楫^か楳^{まい}
 松^{しょう}檜^{ひのき}檀^{たん}木^{もく}數^{かず}種^{しゆ}沙^さ古^こ

巴^ぱ尔^る母^ぼ又^{また}漆^{しつ}料^{りょう}ハ核^{かく}椰^や
 子^し藕^{そう}木^{もく}櫟^{れき}樹^{じゆ}皮^ひ没^{もつ}念^{ねん}
 子^し莖^{せい}靛^{ぜん}身^{しん}藻^{そう}佐^さ阿^あ荖^{せう}
 菜^{さい}首^{しゆ}膜^{まく}加^か的^{てき}牛^{ぎゆう}小^{せう}菜^{さい}
 根^{こん}莖^{せい}脂^し黄^{わう}蘘^{わう}藜^{れい}诸^{しよ}品^{ひん}あり。

改正商賈往來

四

柑	葡萄	生	胡	米
榧	萄	姜	瓜	麥
檀	苳	葱	金	小
枇	苳	茄	薯	豆
杷	苳	子	水	燕
胡	菠	胡	菜	麥
椒	菠	蘿	隱	豌豆
越	蜜	蔔	元	

林	胡	鈴	杜	瓜
檣	桃	薯	松	椰子
舊	梅	獨	可	可
符	杏	活	喜	甲
銀	棗	甘	豆	肉
杏	椹	芳	沙	荳
卷	椹	粟	糖	蔻
烟	梨	柿	馬	

餅	酒	梳	杯	存
酢	消	酒	酒	雜
漬	化	酪	麥	宮
水	酒	枸	酒	留
菜	酥	椽	葡	麻
類	乳	汁	萄	得
杜	炆	苗	酒	羅
松	蒸	香	櫻	三

酒	好	希	綿	子
芥	有	類	海	皆
子	之	杜	綿	洋
皆	海	松	厚	客
洋	綿	肉	樹	乃
客	厚	桂	皮	嗜
乃	樹	幾	昆	
嗜	皮	形		
	昆	形		
		八		

蓄 蕨 後 母 璠 珀 莖 素
 蒼 蒼 諸 品 乃 又 動 物 也
 名 不 一 牛 馬 犬 羊 豕 豚
 の 六 畜 也 外 驢 鳥 駱 駝
 犴 羊 犴 鳥 璠 寸 磬 海

陸 羽 毛 熊 狒 豹 紫 貂
 馴 燕 水 牛 皮 象 牙 玄
 狃 皮 冰 熊 皮 海 寸 海
 豹 一 角 犴 狒 水 豹 膾
 膾 膾 鯨 皮 鯨 骨 魚 膠

改正商賈雜考

真珠まゆ珊瑚さんご玳瑁たいぼうコニセ

ニル。龍涎りゅうぜん麝香じやくかう駝鳥たけいの羽う

替か蠟ろう絲いと鵝が糞ふん燕えん窩わ多たり。又また

食品しょくひん鳩とび免うま雁かり鴨鴨小鳥こどり

鷓鴣ていこ為あひら鮭さけ鱒ます鱧すま鱒さけ梭魚かます

鯉こい鮓あな鰻うなぎ鮠あゆ鮮あめ蟹かに海老えび

石いし決けつ明めい牛うし舌しほ魚いし黃わう貂じゆ

魚いし刺あさり牡うし蠣かき鱈たら又また工こう産さん

乃の品しん之の手て製せい機き表ひょう於お

二に般はんあり。以も廣ひろ大だいの工こう作さく

場ば機きの運うん動どうも水すい車しゃあり。
 又また獸どう力りきは轉てん運うん機き又またも
 蒸じょう氣きの機きを及およぶべ林りんとく
 石せき炭たん乃なり烟けん突とつ角かく少せうを遙よろら
 望のぞ見みて。府ふの寫しと表ひょうと

知ちるる女に了り。數かずの齒は輪りんを
 動うごす。正ま中ちゆう少せうある大だい元げん
 輪りん綿めん英えい彈だん化か績しつ紡つむ繭まゆ
 孫そん蟻あひ車しゃ織おり機き鋸こ匠しやう鑄いもの
 工くわ鋸こ工くわ酒しゆ匠しやう時とき計けい師し

印夜布工壁油家熟
 皮匠刷畫工造幣局
 工化共二至要あり。服食
 器玩諸道具多。剃刀
 礪石梯子。軟水鉢
 礪石梯子。軟水鉢

水徳利菓子臺花瓶
 七火奴煮湯多床業
 味入。店。茶瓶可産
 臺肉。义子菓子。菓子
 高脚盃燭臺磁子酒

布	帽子	玻璃	暖室	臺
布	子	襟	鏡	溫
大	襟	鏡	外	麵
小	卷	外	套	棒
島	羅	套	沓	蒸
肉	紗	沓	ケ	餅
襦	巾	ケ	ツ	寗
袷	巾	ツ	フ	寗
袷	巾	フ		寗

鈕	帚	フ	天	決
鈕	ノ	子	笠	士
和	ノ	ル	後	眼
袴	薙	ル	母	連
袴	子	垂	袋	生
袴	子	線	毛	金
袴	子	織	襦	巾
袴	子	織	子	晒
袴	子	織	子	晒
袴	子	織	子	晒

水彈呼繩可喜罐飾
 球頸常髻小刀指環
 袖珍時辰表の上品
 白金製如函輕巧
 又紙垂の龍踏表向い

按来両玻礫石入雲
 回輪取瓦甬華尼滅
 金鏈磁石正午報炮
 晴雨計寒暖計小三種
 あり。又鏡類ハ手重鏡

望天影、水寫真鏡、町
 間眼鏡、束光鏡、進眼
 返射諸鏡、あり、号、式、形
 丹土、北測高、像、手、踊
 線の、水、平、儀、測、時、器

羅、經、普、通、曆、八、線、表、の
 比、何、冊、呼、管、浮、板、真
 丹、土、皆、産、地、家、に、用
 具、あり、又、表、光、革、小、数、品
 あり、印、田、輪、波、離、鞍、し

紅華ベニ 華ハ 菊キク 黄ワウ 漆シキ 華ハ 多タ 小コ
 兵ヘイ 器キ 牙ガ 用ヨウ 小コ 刀タウ 太タイ
 鏡カウ 六ロク 響キョウ 音オン 炮ポウ 鏡カウ 鈕キョウ 小コ
 茶チャ 斯ス 肉ニク 照テウ 華ハ 鞆トウ 大ダイ 鼓コ
 島シマ 上ジョウ 鏡カウ 爆バク 冒モウ 旗カウ 條テウ 鏡カウ

彈タン 藥ヤク 車シャ 天テン 幕マク 煩ワン 本ホン 茶チャ
 土ド 旗カウ 甫フ 手テ 擲テキ 捕ポウ 彈タン 射シャ
 擲テキ 炮ポウ 暴ボウ 母ボ 部ブ 霰ゼン 彈タン 旗カウ
 喇ラ 叭パ 又マタ 邊ヘン 沙シャ 局キョク の 諸シヨ 器キ
 械ケキ ハ 膏コウ 詔シヨ 消シヨウ 息シキ 子シ 加カ 欠ケツ

氏上南東林本
一四二

照安比大知悉於大刃
物肉截較轉帶烙織
結條瓦甬華尼棧貌
倭屈帶子宮鏡眼輪
彈拔渣賜器解刻法

刀數件あり、硝砂石
磁丁子油岩酸曹達
古魯陣肝油阿片
的便油青酸輕著玉
新酒石酸平駝羆蒸

文正尚書生來
十五

角精綠紫油幾形瑤
 比與新捨歷尼懷阿
 魏磬石麻具稱西五
 猿佐馬里留羅磁黃
 斤利古用土の華一浦

新劑古考南擔女玉
 林土吐根瀉利瑤利
 篤亞斯波業加里滴
 腐蝕瑤葛若粵幾新
 騏驎竭砒霜羅阿必

文三兩賣生天

六

改訂兩賣生天

三

斯赤石脂蜜火棍烟
 砂胆八油五刺比亞
 獲為北和商等坊月
 業舖乃販資如季先
 商業成廣めんと皆財

本を持寄るに、釀金、利
 息、成配當、其算、勤
 者、近來、乃法、不、徹、の、と
 計、為、毎、一、皆、百、分、に
 三、五、其、水、於、來、乃

三朱五朱規則業文
定き官許越稟
披露其事業
多端あり農工商賈
法種於業以於國牙

關係す輸入輸出の物
品も時價乃昂低常
あるを自國其品を積込
與て他國へ出し商
先海外の形勢錢糧

一、海陸あり多し。海は四
 分、水三を成ふ。陸は僅
 一、周界の圓は其の周
 圍一萬二、百餘里中、
 海陸あり多し。海は四
 分、水三を成ふ。陸は僅

一分あり。陸を分ちて五
 大洲、日本支那ハ、西
 細豆、英佛魯普ハ、
 歐羅巴又南方の西、
 利加、未、子、多、奴、國

角とん一一南北なんぼく二部にぶ乃なり亞あ
 墨利加めいりか地ち產さん產さん博はく小せう
 移し一一澳あう大利たうり一一油ゆ也や
 近ちかく日本にっぽん北きた南みなみ也や地ち
 產さん漸ぜん多た豐ゆふ也や水みづ也や李り

又また年ねん月げつ改かへ每ごと少すく額がくハ大おほ
 陽やう曆りきを滿まん号ごう界かい著しやく通つう
 用もちゆら習しゆ俗じやくあり我われ和わ
 明治めいし六む年ねんハ一いち萬まん國こく也や
 其その紀元きげん一いち千せん八はち百ひやく七しち十じゆ三さん

改正商賈生旅

二十

曆法乃立方ハ如終
 大小ありあく一三五七
 八十と十二ハ大乃七個
 月三十一の日数如季
 十一月と四六九共四個

三月を常小と
 三十日や定めたり唯
 二月の二十ハ閏年
 ありバ一日増すと
 記ゆし干支を算

少事も多く七曜は
 み成日と配り万国は
 小合用す月牙甲五
 度の日曜は去る休業
 能部限あり其探法ハ

日月火水木金土一
 週移りて更ふを元り
 一月中乃値日は順
 成知新ふハ一と八十五
 二十二二十九ハ彼七曜

乃還到日。乃英語
 多世界中。行多處。此
 變多。客商亦水。
 開習。自分所用錢
 達寸。每。し。法國の貨

幣度量略。亞墨利
 加。銀を。井と云ふ。英の
 磅。ハ。三。兩。餘。二十。分。一。
 司令。と。す。ター。ル。日。甫。曼
 フ。ラ。ン。ク。の。佛。の。通。用。貨

外子。證票為替年形
 あり。地理。地券。禮文。幣村
 元。於。不。流。通。滞。多。し。
 目。島。輪。有。度。封。徒。尺
 十。六。費。ハ。ピ。コ。ル。少。ク。共。ハ

二百七十目。於。ハ。初。為
 乃。目。方。少。ク。二。百。九。十。三
 費。目。諸。國。盡。状。付。往
 復。者。郵。便。券。外。子。以
 着。々。陸。上。送。送。年。半。電

信機法國產物時價
 比何高下を採る新
 聞紙船紙自分之海人
 みの金は新古を釐定し
 馬力を計り一時乃海

程常不遅速一何り港
 軍為二様あり又碇
 泊乃自由港船入為
 藏諸税則又安否は
 討重ハ商正少事を討

收す。貨物の税や碇税
海路諸羅乃請令
常小會社に出し重す。
又萬國の公法ハ戦時
常り至要あり。港出入

の船より、蒸氣軍艦延
邏船、荷船、測量ス
子ル、浮林、甲鐵、螺機、帆
前、更子、敏捷、冠、物
船、皆、船、隻、ハ、前、年、ノ、文

引城界のて修撥とす
又海外の航路の東を
西乃二椗河孝東に向ひ
航出し大平海を横
截ハ事候ハ考ふ程ハ不

西牙向つて赤道下堡
中忠熱甚し其不語
程五斗餘里又之の奇
の形係ハ中と上下乃
為別あり中葦丘五

百圓ひやく下等げの百四十圓ひやくしじゅう
 餘よ上じやう等じやうより下げの五倍ごばいあり
 一人ひとり廿にじゅう為物ぶつ許ゆるし高たか
 尺せき之の十六じゅうろく寸すん圓めいげん糸織いとおり指さ
 して新約しんやく光くわう公等こうとう凡おほま

四百圓しひやく下等げハ僅わずか五十ごじゅう
 圓えん三百圓さんひやくハ中位ちゆうゐあり
 三十さんじゅう寸すんを積つみ為なす
 糸織いとおり間織まゐり糸いとより上かみ等じやう
 百餘圓ひやくよ中ちゆう七十しちじゅう

餘國あり、凡そ象の人
種中、唯白哲は一系ハ
最廣く、交易及、手織
延し、多額、富民、形季
其化、漸々、年々、遂ハ

我東方、不及、其、終、手
と、肩、織、并、ぬ、肩、し、唯
肝、要、ハ、外人、ハ、信、象、世
者、ハ、交、り、ハ、担、悉、乃
品、を、輸、出、せ、す、以、て、其、輸

入名精撰し諸件傳
 實おもむくを以て市場永
 久に富を致し
 強を
 松雪書
 改正商賣往來
 終

國友

西京
書肆

行子屋榮助

國友姓

